

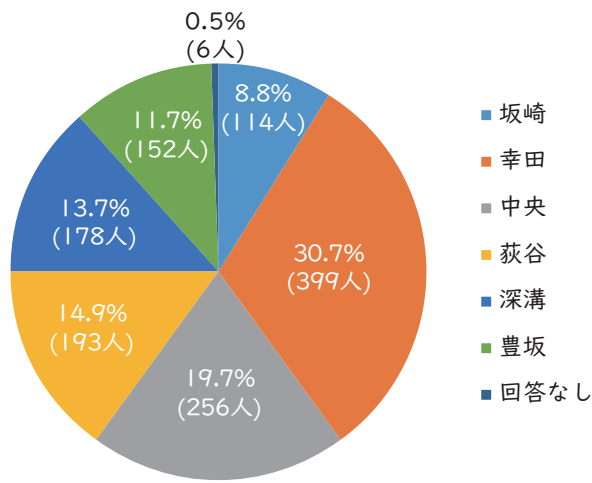
住民意識調査の結果を報告します

住民意識調査とは、町民の皆さんのまちづくりに対する考えをお聞きし、町政運営の参考にすることを目的としたものです。

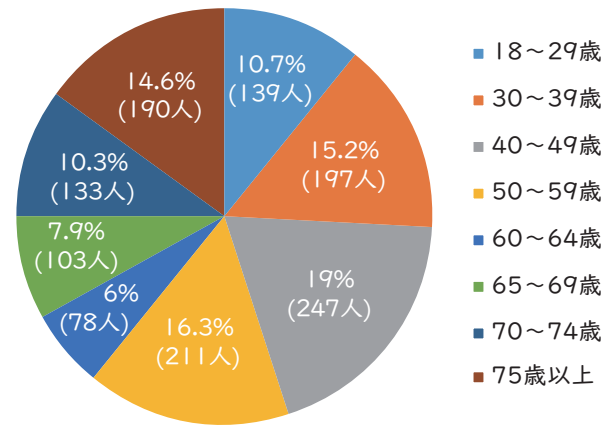
この調査は昭和54年から1年おきに実施し、今回で23回目となります。18歳以上の町民2,000人を無作為抽出し、1,298人（回収率64.9%）から回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

主な結果について報告します。

回答者の居住地（小学校区） 回答数：1,298



回答者の年代別内訳 回答数：1,298

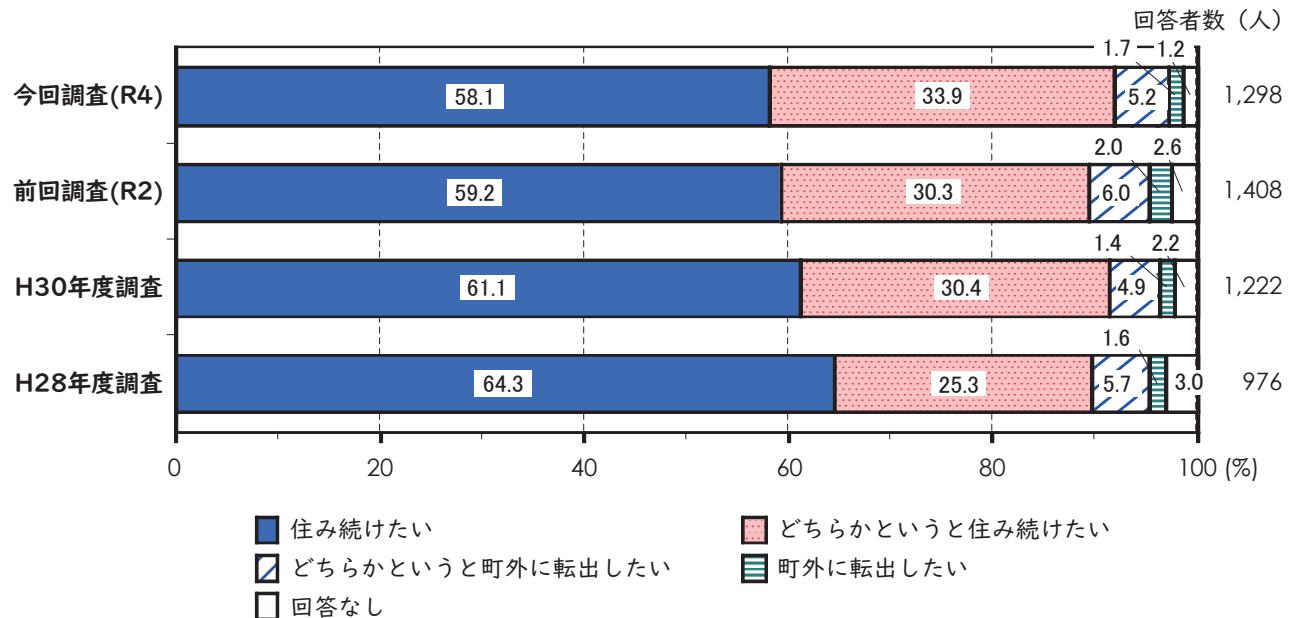


【幸田町に住み続けたいか？】

町への定住の意向について、「住み続けたい」が58.1%と最も多く、「どちらかというに住み続けたい」の33.9%と合わせると92.0%の人が町での定住を希望しています。

過去の調査から定住意向の経年変化を見ると、「住み続けたい」は平成28年度調査の64.3%から、今回の令和4年度調査では58.1%となり、6.2ポイントの減少となっています。

「住み続けたい」と「どちらかというに住み続けたい」の割合を合わせると、平成28年度調査から順に、89.6%、91.5%、89.5%、92.0%と推移してきており、今回が最も大きな割合を示しています。

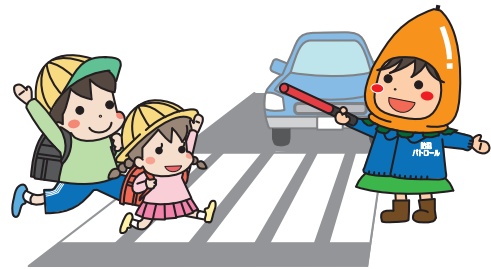


【施策の満足度・重要度、特に力を入れてほしい施策】

「第6次幸田町総合計画」に挙げられている施策の41項目について、現状の施策の満足度と重要度、特に力を入れてほしい施策を尋ねました。

施策の満足度 上位3項目	
順位	項目
1位	消防・救急体制の充実
2位	健康づくりの推進
3位	下水道の整備

施策の重要度 上位3項目	
順位	項目
1位	交通安全・防犯対策の強化
2位	医療体制の充実
3位	消防・救急体制の充実



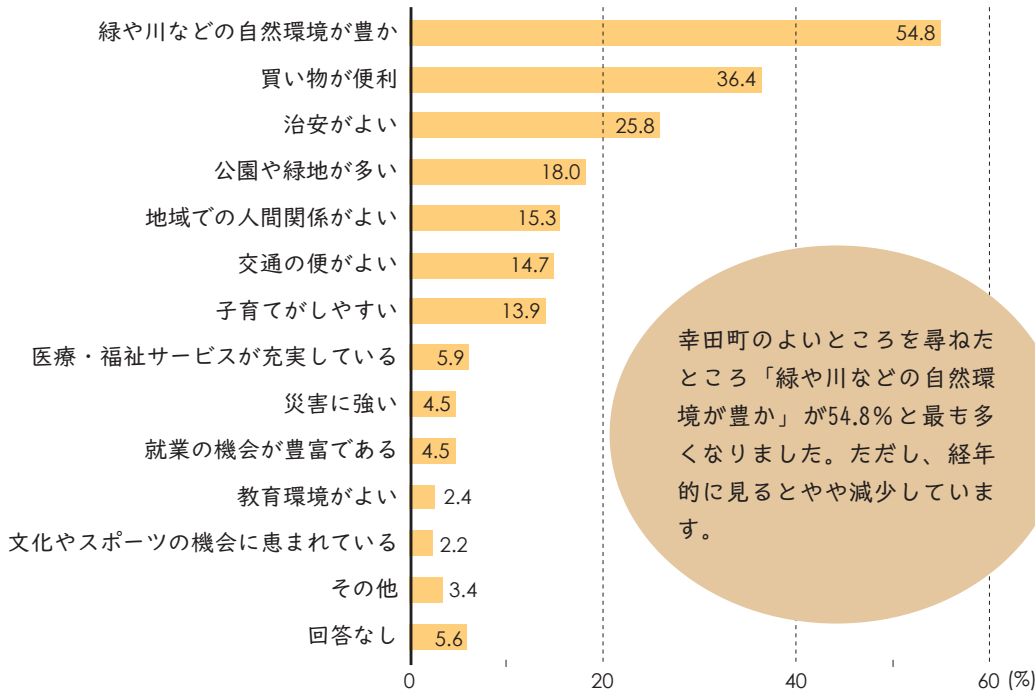
特に力を入れてほしい施策 上位3項目		
順位	項目	町の方針や取組状況
1位	子育て支援	子育て支援の充実は重要だと考えています。すべての保護者が安心して子どもを産み、育てることができるよう子育て支援体制の充実を図っていきます。子育て支援センターでは、相談や情報提供、各種イベントの開催などを行い、子育て支援の充実に努めてきました。また、児童館活動をはじめ、親子で遊べる安全な場所や、親子がふれあえる場所の確保のため、現在、新児童館の建設計画を進めています。
2位	医療体制の充実	「医療機関の充実」を主要な施策として長年取り組んできました。令和2年4月に藤田医科大学岡崎医療センターが岡崎市南部という町から近い場所に開設されたことにより、以前に比べ医療体制は充実しました。通院などの移動支援として、役場とJR相見駅から藤田医科大学岡崎医療センターを結ぶ「藤田乗合直行タクシー」も運行しています。しかし、町内で出産できる医療機関がないため、現在まで関係機関へ産科医院の誘致の働きかけを行ってきましたが、岡崎市南部での産科医院の開設があるため、町への進出には至っていません。今後も引続き、協議・調整を進めていきます。また、自宅で介護と医療が必要な人が、住み慣れた地域で自分らしく過ごすことが出来るよう、在宅医療の支援体制の構築を推進していきます。
3位	高齢者福祉の充実	高齢者数は年々増加しており、それに伴い一人暮らし高齢者や認知症高齢者も増加しています。そのため、超高齢社会においても、安心して住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで過ごすことができるよう、医療、介護、介護予防、住まい、生活支援が包括的に提供する地域包括ケアシステムの構築を推進します。その中で、高齢者の見守り、外出支援、介護に関する施設の整備・誘致などの事業を推進していきます。



幸田町のよいところ、悪いところについて尋ねました

幸田町のよいところ（複数回答）

回答者数 = 1,298

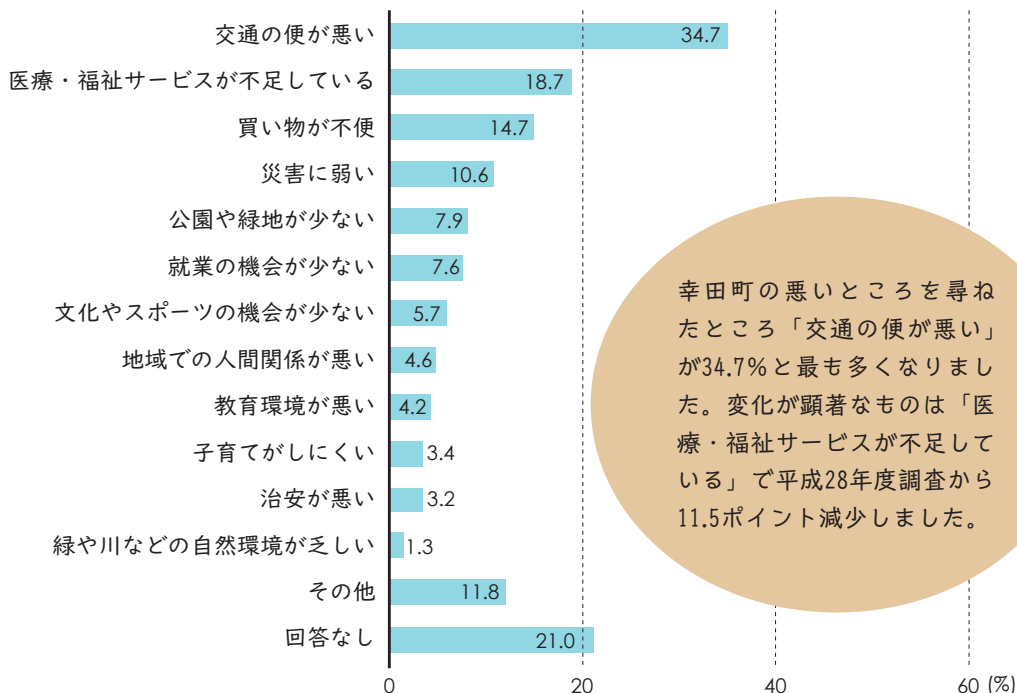


幸田町のよいところを尋ねたところ「緑や川などの自然環境が豊か」が54.8%と最も多くなりました。ただし、経年的に見るとやや減少しています。



幸田町の悪いところ（複数回答）

回答者数 = 1,298



幸田町の悪いところを尋ねたところ「交通の便が悪い」が34.7%と最も多くなりました。変化が顕著なものは「医療・福祉サービスが不足している」で平成28年度調査から11.5ポイント減少しました。



「ぶ」意見 (抜粋)

自動車が運転できない人、免許を返納した人が利用しやすいように町内の交通について考えてほしい。

新たな交通手段として、次の3つの社会実験を実施しています。

- ・ 役場・相見駅と藤田医科大学岡崎医療センターを結ぶ「藤田乗合直行タクシー」
- ・ 深溝・豊坂小学校区に限定して実験中の、デマンド型乗合タクシー「チョイスココうた」
- ・ 坂崎区でボランティアドライバーによる買い物支援「坂崎コミュニティライド」

*デマンド型とは、停留所間しか移動できませんが、希望する時間に、希望する停留所から希望する停留所へ移動できるものです。

今後も車に乗れなくなった高齢者のための交通手段を調査・検討していきます。

運動のできる施設・スポーツ公園を増やしてほしい。

現在、町内には運動場、グラウンド、ゴルフ場、庭球場、遊水地、弓道場、勤労者体育センターを合わせて計11の社会体育施設があります。既存の施設の充実

はもろろんのこと、新体育館構想などの計画づくりを進めていきます。

公園の整備につきましては、地域のまちづくりを考える中で、一体的に検討していきます。

いつでも分別ごみを出せる場所があると大変ありがたい。

本町には総合的なごみ処理施設がないので、いつでも分別ごみを出すことのできる場所の設定はしていません。なお、「平日資源等拠点回収」を実施していますのでご利用ください。ご負担をおかけしますが、ご協力をお願いします。詳しくは町ホームページをご確認ください。今後とも、地域の分別ステーションでのごみ出しにご協力くださいますようお願いいたします。



▲町ホームページはこちら



小中学校のオンライン授業などタブレットの活用を進めてほしい。

令和3年度に導入されたタブレット端末の使用における環境整備が整い、各小中学校において活用頻度は高まっています。今年度は夏季休業中に各小中学校において教職員のタブレットの活用研修を予定しています。また、臨時休校など緊急時の実施を想定したオンライン授業についても実施環境は整っています。



制服を選べるようにしてほしい。動きやすく機能性のある制服にしてほしい。

ジェンダーレスに対応する新たな制服を採用する学校が全国的に増えてきています。本町では、今年度から幸田中学校で第3の制服が導入されました。また、

南部中学校と北部中学校でも令和6年度から新しい制服へと移行する予定です。ジェンダーレス対応はもろろん、動きやすさやデザインなど、さまざまな点において検討がなされた制服となっています。

町民でもえこたんに会ったことがないので、広報などに記載があると面白いと思う。

えこたんが登場することが決まっていた場合、広報こうたにイベント情報に併せてお知らせします。ただし、直前まで登場が決まっていないことも多いので、予告なく登場することもあります。



住民意識調査にご協力をいただき、ありがとうございました。調査結果の詳細は町のホームページに掲載しています。

問合せ

企画政策課 政策グループ 内線334
 FAX(0564)63・5139